

世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に36社のグループ会社を展開しています。(2017年9月末現在)



拠点紹介



Geico S.p.A. (ジェイコ社)

シナジー効果による業績拡大および塗装技術のさらなるエンジニアリング力向上を目的に、当社とジェイコ社が戦略的なグローバル・アライアンスを結んでからおよそ6年が経過しました。ジェイコ社はイタリアで100年以上の歴史を有する塗装システム事業のエンジニアリング会社であり、独自の技術や欧米系の自動車メーカーを中心としたさまざまな顧客への営

業力、世界のあらゆる地域への展開などを強みとしています。アライアンス発足以降、ジェイコ社は、売上高と利益で毎年着実に成長を遂げており、昨年はアメリカのフィアット・クライスラー・オートモービルズ社の大型プロジェクトを受注することができました。近年のグローバル市場において、当社グループの存在感はますます高まっています。

FOCUS

2017年6月、ジェイコ社はSURCAR CANNE 2017(*)にて、イノベーション・アワードを受賞しました。これは同社で進行中のプロジェクトに与えられたもので、近年の世界的潮流である「IoT技術を用いた塗装工場のスマート化」がテーマとなっています。実際のプロジェクトでは、生産品質の向上、設備の故障予知、作業者に対する安全性向上、省人化を見据えた新システムの開発が進められています。

(*)2年に一度開催される、自動車塗装技術のPRや技術者の交流を目的とした国際会議。50年以上の伝統があり、自動車塗装業界の関係者が一堂に会することから、業界屈指の会議と言われている。



株式会社 大気社

〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195
<http://www.taikisha.co.jp>



株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は、大気社の海外拠点があるイタリアの世界遺産、ローマ歴史地区のコロッセオです。イタリアの拠点については、裏表紙をご覧ください。

第73期
第2四半期

株主通信

2017.4.1 ▶ 2017.9.30

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

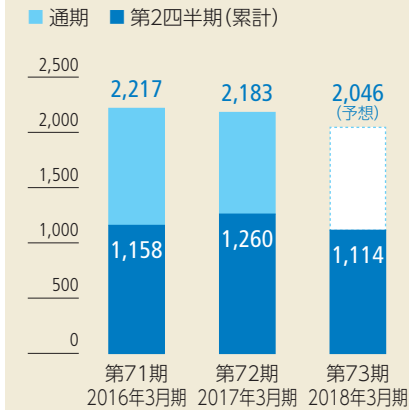
さて、このたび当社第73期第2四半期連結累計期間(2017年4月から2017年9月まで)を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 芝 利昭

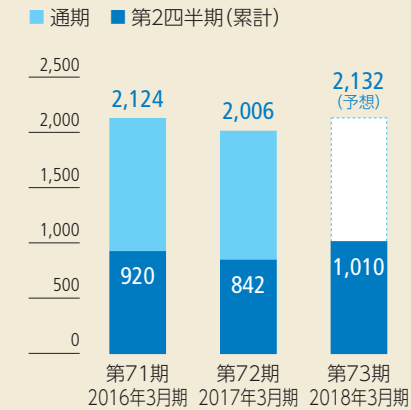


業績ハイライト

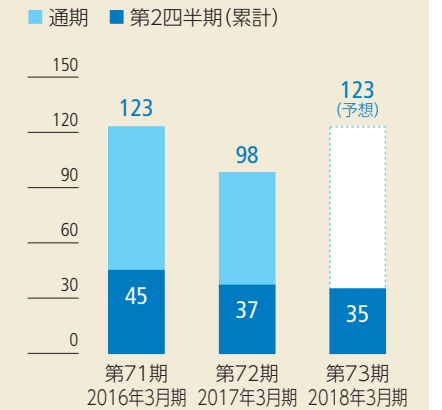
● 受注工事高 (単位:億円)



● 完成工事高 (単位:億円)



● 経常利益 (単位:億円)



当第2四半期連結累計期間の事業環境について

環境システム事業部では、東京都心の再開発やリニューアル、来日外国人の増加を見込んだホテル建設など、国内のビル空調分野において、前期より需要の高い状態が続きました。また産業空調分野では、スマートフォンや自動車電装品向け電子部品メーカーによる投資が活発に行われました。

しかし、タイなどの海外市場では、依然として日系顧客による設備投資が少ない状況が続いています。

一方、塗装システム事業部に関してはアメリカ・中国で積極的な投資が行われ、インド市場における投資拡大の動きが見られたものの、市場競争は一段と厳しさを増している状況です。

当第2四半期連結累計期間の業績について

当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の連結受注工事高は、海外の未達分を国内が補う形で、期初予想に対し44億円上回る結果となりました。完成工事高は海外でも期初予想を上回り、連結では28億円上回りました。

利益面では、環境システム事業部の好調な単体業績により、経常利益で期初予想を上回ったものの、塗装システム事業部において北米の自動車塗装案件で損失が発生したため、全社の結果としては全ての項目で未達となりました。

今後の取り組みについて

環境システム事業部では、海外事業の収益力向上を最大の課題と捉え、海外における競争力の強化や事業領域の拡大を推進します。国内に関しては活況な市場環境に伴い、手持ちの工事量は高水準で推移しています。そのため、残業時間の削減や人材の確保といった「働き方改革」への対応を最優先課題として進めていきます。

一方、今期に不採算案件が発生した塗装システム事業部では、すでに採算性重視の受注前審査の強化に取り組んでいるところです。さらに、アメリカや中国といった競争環境の厳しい市場では収益力の向上を目指し、自動車塗装以外の事業領域やコンベヤシステム等の周辺領域の拡大を図ります。

当社はすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、引き続き経営目標達成のために全力をあげて取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



環境システム事業部

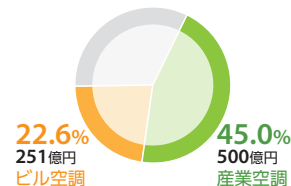
経営資源の優先配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

産業空調分野では、スマートフォンの高機能化による電子部品の需要拡大などに伴い、関連企業の設備投資が増加すると見込んでいます。ビル空調分野では、首都圏の再開発におけるオフィスビルの新築投資が期待されます。長期的には既存ビルを更新するリニューアル市場の比率が高まると予想しています。

今後の取り組みとしては、投資が伸びる分野や市場を見定め、迅速な対応と経営資源の優先的な配分を行うとともに、需要の増大が予想されるメンテナンス・リニューアル物件についても、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、海外市場においては日系のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくりを行います。

● 環境システム事業部受注高
累計期間:2017.4.1~2017.9.30



Green Technology System Division

タイのビーチリゾートに大型ショッピングモールが竣工

2016年10月、タイ王室の保養地として知られるホアヒン地区に、大型ショッピングモール「ブルーポートホアヒン」がオープンしました。本プロジェクトにおいて、当社は空調・衛生・電気工事を請け負いました。海辺をテーマにした施設は地域住民だけでなく、観光客も楽しめるスポットとして注目を集めています。



塗装システム事業部

経営資源の優先配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

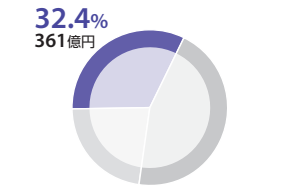
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

自動車塗装分野では、自動車販売が好調な中国・インドや、設備更新需要が増大する見通しのアメリカにおいて、投資の拡大が期待されます。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる市場に対して経営資源を優先的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携により、非日系自動車メーカーからの受注拡大や、航空機・鉄道車両・船舶など自動車以外の塗装設備事業、コンベヤシステムなど、周辺領域への事業拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部受注高
累計期間:2017.4.1~2017.9.30



Paint Finishing System Division

航空機部品塗装への挑戦
—川崎重工業・岐阜工場—

川崎重工業の岐阜工場では、航空機部品製造の最終工程を担う化学処理工場を新設しています。その中で、当社は中小型部品向けの塗装ラインを施工しています。数万種類に及ぶ部品それぞれの特性に合わせた塗料や焼付条件に対応するため、同工場では最新の部品識別システムを活用した塗装ラインが採用され、生産性の向上が図られています。



タイの配電盤製造会社BTE Co., Ltd.への資本参加



2015年に発表した当社の中期経営計画では、環境システム事業部の海外事業拡充を目指し、施策として「日系顧客のみならず非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくり」を掲げています。海外の案件において、非日系企業は空調・電気などの設備工事を一括で発注するケースが多いため、当社子会社である大気社タイランドは電気工事の技術力強化を目的に、このたびBTE Co., Ltd. (以下BTE社)へ資本参加を行いました。

1996年に設立されたBTE社は、工場やビルで用いられる配電盤や監視盤用制御盤の設計・製作を手掛ける会社です。

当社グループはタイの拠点設立以来、半世紀近くにわたって現地での活動を積み重ねてきました。この実績をもとに、今後もさらなる現地化を推進していきます。

優れたメンテナンス性とエネルギー効率を実現した、新型サーキュラーを開発

(図1) 湿式スクラパー式塗装ブースのフロー



サーキュラーとは、自動車塗装ブースで車体に吹き付ける塗料のうち、付着せずブース内に飛散したミスト状の塗料を回収する装置です。塗料ミストは、(図1)のように天井から吹き出す均一なダウンフロー（垂直な一方向への気流）に乗って床下のサーキュラーに導かれ、微粒化した水に衝突させて捕集されます。

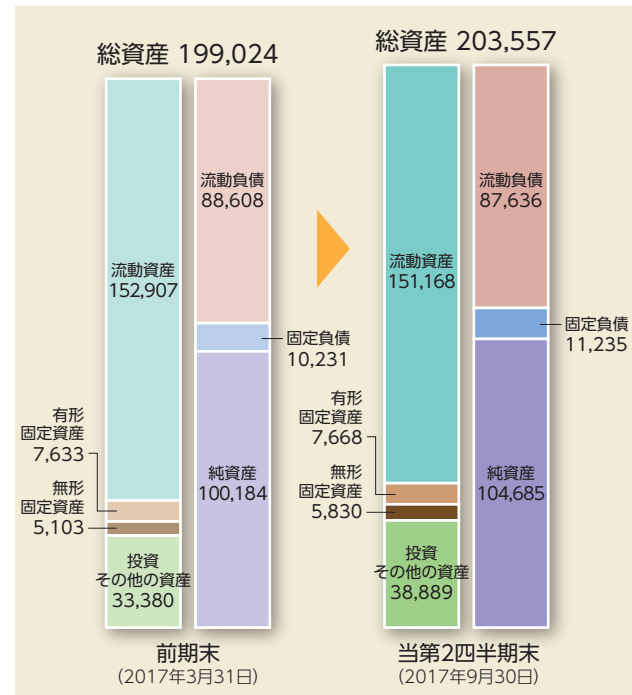
(図2) 従来型と新型の空気の流れの比較

	W型湿式サーキュラー (従来型)	S-1型湿式サーキュラー (新型)
サーキュラー形状		
特長	低騒音化に重点を置いたサーキュラー	処理空気の流れを直進のみにして、エネルギーロスを小さくすることで除塵効率向上へのエネルギーを確保

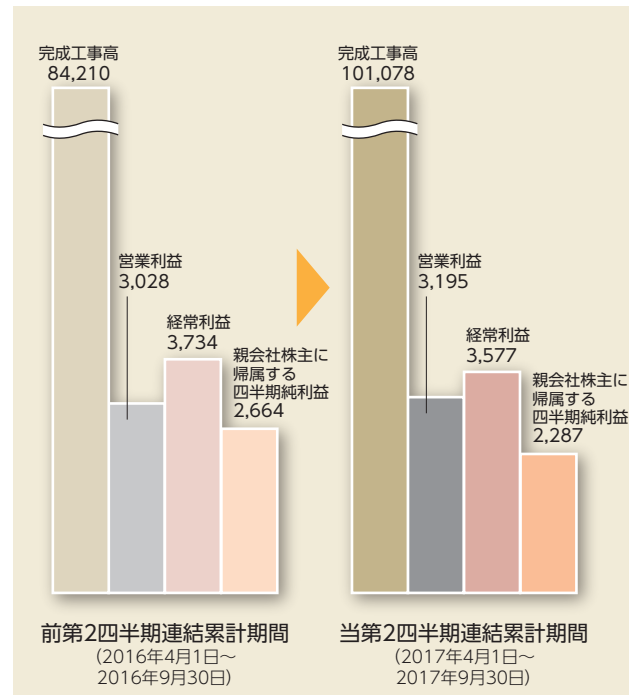
このたび開発された「S-1型湿式サーキュラー」は、(図2)に示されるようなシンプルな形状を採用し、優れたメンテナンス性を確保するとともに、除塵効率はそのままだけに、気流がサーキュラーを通過する際のエネルギー損失(圧力損失)を22%、循環水量を13%低減することに成功しました。その結果、サーキュラーの消費電力は従来に比べて14%低減しました。当社は今後もさらなる改良・改善を継続し、より高性能な商品開発を進めていきます。



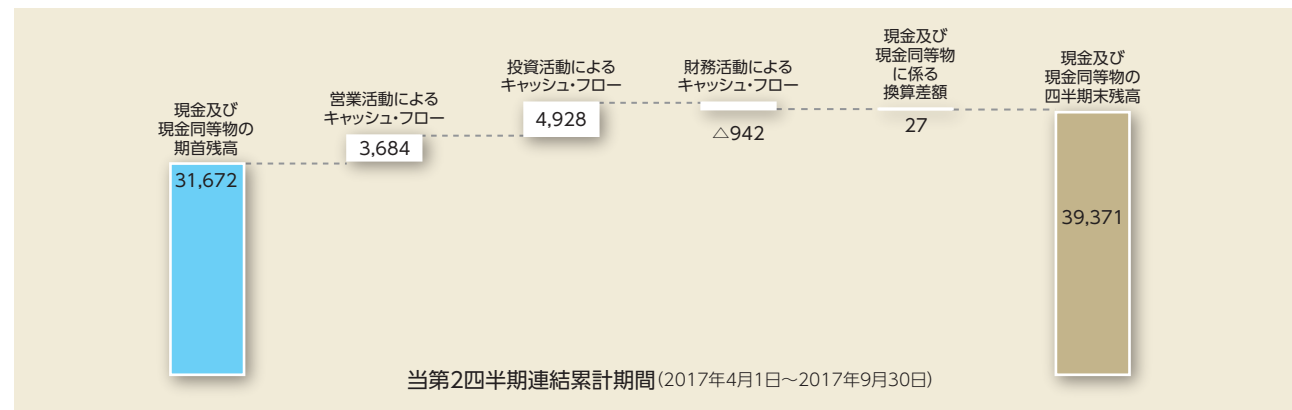
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



会社概要 (2017年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)
 創業 1913年4月10日
 設立 1949年7月7日
 資本金 6,455百万円
 従業員数 (個別) 1,480名 (連結) 4,842名

グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。
 【グループ企業】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>
 トップページ > 企業情報 > グループ企業

【取締役および監査役】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>
 トップページ > 企業情報 > 役員紹介

【株式情報】
<http://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

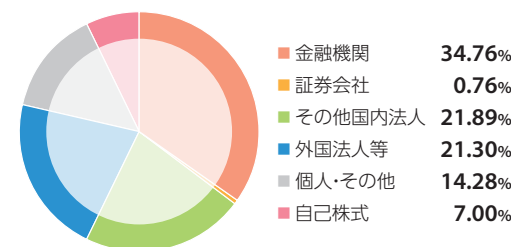
株式状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 36,782,009株
 株主数 3,191名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,813	8.2
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	2,082	6.1
株式会社建材社	1,730	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,639	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,591	4.7
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,123	3.3
大気社協力会社持株会	1,036	3.0
株式会社第二建材社	1,000	2.9
大気社社員持株会	880	2.6
日本生命保険相互会社	866	2.5

所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式2,575,942株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3.[持株数]は千株未満を切り捨てて表示しております。